

子どもみんなプロジェクト 報告会

日時: 令和 2年 2月 20日 (木) 14:00~開会 (13:30受付開始)

場所: 千葉大学 ゐのはな記念講堂 (千葉市中央区亥鼻1-8-1)



千葉大学亥鼻キャンパス内 地図



【プログラム】

主催者挨拶 片山泰一 (大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 教授)

来賓挨拶 徳久剛史 (千葉大学 学長)

鈴木慰人 (文部科学省 初等中等局 児童生徒課 課長補佐)

報告① 子どもの発達リスクへのアプローチ (弘前大学・弘前市教育委員会)

報告② 「勇者の旅」プログラムの効果とその実践 (千葉大学・柏市教育委員会)

報告③ 学校風土へのアプローチ (浜松医科大学・磐田市教育委員会)

報告④ プラットフォームの可能性 (子どもみんなプロジェクト事務局)

報告⑤ これまでの取り組み報告 (子どもの発達科学研究所)

総括講演 清水栄司 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター センター長)

講評 玉井日出夫 (武庫川女子大学・浜松医科大学・千葉大学子どものこころの発達教育研究センター 客員教授)

(17:00終了予定)

※どなたでもご参加いただけますが、**事前のお申し込みが必要です。**

申込みフォーム (<http://uOu0.net/hLjW>)、または右のQRコードよりお申込みください。

(お電話、FAXでのお申し込みは受けつけておりません。)

ご質問がございましたら、toiawase@kodomo-minna.jpまでご連絡ください。



申し込みQRコード

メッセージ

子どもみんなプロジェクトは、子どもの暴力、いじめ、不登校など、子どもの情動発達の課題について、研究者と教育現場の先生たちが協力して解決に導こうとするものです。



今回の報告会では、その5年間の成果として、例えば子どもの発達リスクを高める因子とは何か、そうした子どもの発達リスクを減らす保護因子である学校風土とは何か、学校風土を改善する方法は何か、子どもの不安を予防するにはどうしたらよいか、など、科学的な研究によってわかったことを発表します。さらには、こうした科学的研究成果を、連携教育委員会との協働のもと、学校現場で活かすにはどうしたらよいか、実際にやってみた結果、どのようなことが起こったのか、などについて報告します。

子どもみんなプロジェクトは、発達障害や家庭的問題を持つ子どもなど、一握りのリスクのある子どものみをターゲットにしたものではありません。そうした子どもを含めた、全ての子どもたちを対象に、子どもの発達に関係する全ての研究者、全ての学校の先生たち、さらには全ての大人たちが当事者となって、科学的な方法を教育や子育ての現場に積極的に使っていこうというものです。

子どもたちの発達を守ることは、私たち未来を明るくすることです。皆様の参加をお待ちしています。

子どもみんなプロジェクト・企画運営協議会 基幹校代表 片山 泰一
(大阪大学大学院 連合小児発達学研究科教授)

子どもみんなプロジェクトとは？

不登校、いじめなど、子どもの問題を、こころの発達の視点から解決することを目的とした文部科学省委託事業として、平成27年度よりスタートしました。子どもの発達と教育についての調査、研究が、これまで5年間にわたって進められてきました。

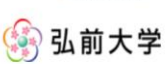
子どものこころ発達のしくみや科学的根拠に基づいた教育現場でも利用可能な支援の方法についてなど、学校等の教育現場と大学等の研究者がお互いに連携し合い、取り組みが進められ、その取り組み成果について全国に広めるために活動を進めてきました。

これまでに各地でのシンポジウム、講演会との開催を始め、大学と各地の教育委員会が連携して、以下のような取り組みを行ってきました。

- ・子どものこころの発達に関する調査、研究
- ・「勇者の旅」プログラムの学校現場での実践、研究と指導者養成研修
- ・学校風土の調査、研究や学校現場への支援、研修
- ・脳科学に基づいた教師基本研修シリーズ動画の作成



10大学コンソーシアムと連携教育委員会



青森県教育委員会 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
柏市教育委員会 館山市教育委員会 静岡県教育委員会
浜松市教育委員会 磐田市教育委員会 大府市教育委員会
石川県教育委員会 福井県教育委員会 大阪府教育委員会
池田市教育委員会 兵庫県教育委員会 西宮市教育委員会
鳥取県教育委員会